

総括：

# データジャーナルと材料分野全体のデータ統合

平成24年度科学情報学研究会  
2013年3月11日

Toshihiro Ashino  
Toyo University (東洋大学)  
ashino@acm.org

# データジャーナル

- 測定・実験データを基本そのままの形で公開する
- データ構造の統一、信頼性の保証は難しい

人工物の設計・製造などに使うデータとは区別すべき

材料分野でも計測装置などは計算機化されているので実現は可能なはず

# 課題

- データの改訂履歴、参照関係などを明らかにする
- データの評価手法、評価基準とのリンク
- データ構造・名前空間の構築
- データ参照のインターフェイス